



# CoA メッセージでのマルチサービスのアクティブ化および非アクティブ化

この機能を使用すると、ポリシーサーバーから送信される単一の許可変更 (CoA) メッセージによって、複数のサービスをアクティブ化または非アクティブ化できます。この機能は、Access-Accept メッセージでのマルチサービスアクティブ化の機能に似ていますが、この場合は、ユーザーセッションが事前にアクティブになっていることが前提となります。

- [CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化を設定する方法 \(3 ページ\)](#)
- [CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化の設定例 \(4 ページ\)](#)
- [CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する追加情報 \(5 ページ\)](#)
- [CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する機能情報 \(5 ページ\)](#)

## CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する制約事項

- マルチサービスアクティブ化または非アクティブ化メッセージに含まれるすべてのサービス名は、インテリジェントサービスゲートウェイ (ISG) 対応である必要があります。たとえば、これらは、タイプが `class-map type` のサービス「`service1`」である必要があります。
- いずれかのサービスアクティブ化または非アクティブ化メッセージが失敗した場合、ブロードバンドリモートアクセスサーバー (BRAS) は、以前に正常にアクティブ化また

は非アクティブ化されたサービスと、同じマルチサービスアクティブ化または非アクティブ化 CoA メッセージに含まれていたサービスのみをロールバックします。

- ただし、現在の ISG の実装では、以前にアクティブ化または非アクティブ化されたサービスの状態を再確立するプロセスに制限があります。たとえば、重複する可能性のある機能が同じセッションで有効になっている場合、新しい機能パラメータ、正常にアクティブ化された機能パラメータ、または非アクティブ化された機能パラメータは、そのセッションですでにアクティブ化されている同じ機能の古いパラメータを削除します。その機能の古いパラメータを再確立しようとするとう失敗します。
- 有効な CLI 設定の ISG サービスが CoA を介して新しいセッションに転送され、失敗した (ISG サービスがアカウントングリストを見つけることができない) 場合は、次のようになります。
  - BRAS は、ハードウェアがプロビジョニングされるまで待機しません。
  - ACK メッセージがリレーされます。
  - ISG サービスは適用されません。
  - トレースバックが監視されます。

## CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する情報

### CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化の概要

CoA マルチサービスアクティブ化または非アクティブ化メッセージには、サービスのリストが含まれています。それらの複数のサービスは、VSA 252 に複数行の形式でリストされます。

1 つの CoA メッセージ内でのマルチサービス非アクティブ化の場合、RADIUS サーバーは、1 つの CoA マルチサービス非アクティブ化メッセージ内で複数のサービスを非アクティブ化する要求を送信します。マルチサービス非アクティブ化メッセージにリストされているサービスごとに、BRAS がサービスを非アクティブ化します。サービスが正常に非アクティブ化されると、accounting-stop メッセージが表示されます。

サービスを正常に非アクティブ化できない場合、BRAS は、マルチサービスアクティブ化メッセージに含まれる後続のすべてのサービスの非アクティブ化を終了します。BRAS は、同じマルチサービスアクティブ化メッセージに含まれる、失敗したサービスがアクティブ化される前に正常に非アクティブ化されたすべてのサービスをアクティブ化します。

既存の VSA 252 は、1 つのマルチサービスアクティブ化または非アクティブ化 CoA メッセージを形成するために使用されます。1 つのマルチサービスアクティブ化または非アクティブ化 CoA メッセージを形成するために、VSA 252 の複数の行がメッセージに含まれています。次の例は、1 つの CoA メッセージでの混合マルチサービスアクティブ化または非アクティブ化を示しています。

## RADIUS 形式

```

ISG#
00:41:15: RADIUS: CoA received from id 76 10.168.1.6:1700, CoA Request, len 67
00:41:15: CoA: 10.168.1.6 request queued
00:41:15: RADIUS: authenticator C4 AC 5D 50 6A BE D7 00 - F9 1D FA 38 15 32 25 3A
00:41:15: RADIUS: Vendor, Cisco [26] 18
00:41:15: RADIUS: ssg-account-info [250] 12 "S151.1.1.2"
00:41:15: RADIUS: Vendor, Cisco [26] 17
00:41:15: RADIUS: ssg-command-code [252] 11
00:41:15: RADIUS: 0B 70 6F 6C 69 63 65 31 [Service-Log-On service1]
00:41:15: RADIUS: Vendor, Cisco [26] 17
00:41:15: RADIUS: ssg-command-code [252] 11
00:41:15: RADIUS: 0B 70 6F 6C 69 63 65 32 [Service-Log-On service2]
00:41:15: RADIUS: Vendor, Cisco [26] 17
00:41:15: RADIUS: ssg-command-code [252] 11
00:41:15: RADIUS: 0C 73 65 72 76 69 63 65 33 [Service-Log-Off service3]
00:41:15: RADIUS: Vendor, Cisco [26] 17
00:41:15: RADIUS: ssg-command-code [252] 11
00:41:15: RADIUS: 0B 70 6F 6C 69 63 65 34 [Service-Log-On service4]

```

## VSA 252 の QoS ポリシー

RADIUS CoA メッセージでは、VSA 252 連結 Quality of Service (QoS) 構文を使用できます。構文は、VSA 252 の連結文字列を解析することによって ISG サービスおよび QoS ポリシーをアクティブ化または非アクティブ化するために使用されます。



(注) ISG は、1つの CoA メッセージで複数の QoS サービスを管理し、メッセージを適用して静的 QoS およびパラメータ化された QoS をアクティブにします。

## CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化を設定する方法

### CoA を使用したセッションサービスのアクティブ化

CoA でセッションサービスを動的にアクティブにするには、RADIUS のサービスプロファイルで Cisco VSA 252 を設定します。RADIUS では、次の構文により、CoA メッセージで VSA 252 が使用されます。

```
vsa cisco generic 252 binary 0b suffix
"qos:vc-qos-policy-out=IPOne_out;qos:vc-qos-policy-in=IPOne_in;;"
```

この例の CoA コマンドは次の処理を実行します。

- ISG サービス「qos:vc-qos-policy-out=IPOne\_out;qos:vc-qos-policy-in=IPOne\_in;;」を開始します。

- 仮想テンプレート IPOne\_out にデフォルトの出力子ポリシーがない場合は、仮想テンプレートのデフォルトの QoS 出力子ポリシーを置き換え、IPOne\_out ポリシーをインストールします。
- 仮想テンプレート IPOne\_in で設定されているデフォルトの入力子ポリシーがない場合は、仮想テンプレートのデフォルトの QoS 入力子ポリシーを置き換え、IPOne\_in ポリシーをインストールします。

## CoA を使用したセッションサービスの非アクティブ化

仮想テンプレートで CoA およびデフォルト QoS ポリシーを使用してセッションサービスを動的にアクティブにするには、RADIUS サービスプロファイルで Cisco VSA 252 を設定します。RADIUS では、次の構文により、CoA メッセージで VSA 252 が使用されます。

```
vsa cisco generic 252 binary 0c suffix
"qos:vc-qos-policy-out=IPOne_out;qos:vc-qos-policy-in=IPOne_in;";
```

この例の CoA コマンドは次の処理を実行します。

- ISG サービス 「qos:vc-qos-policy-out=IPOne\_out;qos:vc-qos-policy-in=IPOne\_in」 を終了します。
- QoS 出力子ポリシー IPOne\_out を、適切な仮想テンプレートインターフェイスで設定されたデフォルトの子ポリシーに置き換えます。
- QoS 入力子ポリシー IPOne\_in を、適切な仮想テンプレートインターフェイスで設定されたデフォルトの子ポリシーに置き換えます。

## CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化の設定例

### VSA 252 を使用した QoS サービスのアクティブ化および非アクティブ化の例

QoS サービスをアクティブにするために、RADIUS は、1 つの VSA 252 文字列で親ポリシーと子ポリシーに 1 つ以上の QoS クラスを追加し、次の構文をリレーします。

```
CoA VSA 252 0b <new service>
```

既存のサービスに加えて、新しいサービスをインストールするとともに、現在のサービスとクラスが重複しないようにする必要があります。

次の例は、QoS のアクティブ化を定義し、QoS クラスをパラメータ化された QoS サービスの RADIUS フォームに追加します。

```
VSA252 0b q-p-out=IPOne1-isg-acct_service(1)((c-d,voip)1(200000,9216,0,1,0,0)10(9));q-p-in=
((c-d,voip)1(200000,9216,0,1,0,0)10(9))
```

2 目目のサービスを非アクティブ化するために、RADIUS は、サービスのアクティブ化に使用された VSA 252 文字列をリレーし、「0b」を「0c」に置き換えます。

次の例は、QoS の非アクティブ化を定義し、パラメータ化された QoS サービスの RADIUS フォームの QoS クラスを削除します。

```
VSA252 0c q-p-out=IPOne1-isg-acct_service(1)((c-d,voip)1(200000,9216,0,1,0,0)10(9));q-p-in=
((c-d,voip)1(200000,9216,0,1,0,0)10(9))
```

## CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する追加情報

### 関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
ANCP コマンド	『Cisco IOS Access Node Control Protocol Command Reference』
IEEE 802.1q VLAN	IEEE 802.1Q カプセル化を使用する VLAN 間のルーティング設定
Queue-in-Queue VLAN タグ	IEEE 802.1Q-in-Q VLAN タグ終端

### RFC

RFC	タイトル
ANCP 拡張のドラフト	『 <a href="#">GSMP Extensions for Access Node Control Mechanism, Internet draft</a> 』
RFC 3292	『General Switch Management Protocol (GSMP) V3』
RFC 3293	『General Switch Management Protocol (GSMP), Packet Encapsulations for Asynchronous Transfer Mode (ATM), Ethernet and Transmission Control Protocol (TCP)』

## CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだ

けを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化に関する機能情報

機能名	リリース	機能情報
CoA メッセージでのマルチサービスのアクティブ化および非アクティブ化	Cisco IOS XE Release 2.4	CoA メッセージでのマルチサービスアクティブ化および非アクティブ化の機能は、RADIUS CoA メッセージを使用した複数のサービスの動的なアクティブ化および非アクティブ化をサポートしています。  この機能は、Cisco IOS XE 2.4 で、Cisco ASR 1000 シリーズ ルータに導入されました。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。